

PM2.5研究の最前線と環境教育への応用

主催 日本化学会 環境・安全推進委員会 環境教育小委員会

日時 平成26年8月19日（火）13:00～17:00

会場 化学会館会議室（東京都千代田区神田駿河台1-5）

JR 御茶ノ水駅・丸ノ内線 御茶ノ水駅・千代田線 新御茶ノ水駅 下車徒歩5分

趣 旨

近年話題になっているPM2.5とはいったいどのようなものなのでしょうか？
本講演では、最前線で活躍されている先生と中等教育現場で実践されている先生に
「PM2.5の実態」、「PM2.5の健康リスク」、「PM2.5の教育実践」について
ご講演いただき、その後、パネルディスカッションを企画しています。

初中等教育現場で環境教育を担う教員！
環境問題に取り組む企業技術者・研究者！
環境問題の最新情報を求める一般社会人！
環境問題の全体像把握を目指す学生・生徒！

一緒にPM2.5問題の現状を学び、環境安全教育の在り方についてましょう！

タイムスケジュール

13:00-13:05 はじめに 環境教育小委員会委員長 大河内 博

～第一部～

13:05-14:05 講演1 『越境する大気汚染 -PM2.5とは何か？-』
東京農工大学農学部 畠山 史郎 教授

14:15-15:15 講演2 『PM2.5を含む大気中粒子が及ぼす健康影響：
疫学研究からわかってきたこと』
京都大学大学院工学研究科 上田 佳代 教授

～第二部～

15:25-16:15 講演3 『高校生によるPM2.5に関する研究 -捕集装置づくりと測定事例-』
市川学園市川高等学校 中島 哲人 先生

16:15-17:00 パネルディスカッション 『PM2.5問題をどのように授業に生かすか？』

参加費 無料。講演資料代1,000円（当日払い）。

申込方法 以下のURLからお申込みください。 <https://event.csj.jp/form/view.php?id=31115>